

電池の入れかた

電池は⊕と⊖の向きを正しく
使用する電池は空気電池312型(PR41)1個です。

① 電池のシールをはがします。

シールが貼ってある面が⊕(プラス)です。



② 電池フタを開けます。

電池のフタの溝に親指の爪先をかけて軽く上に押し上げるようにして開けてください。



③ 電池フタを閉めます。

⊕(プラス)を上にして入れ、電池フタを確実に閉めてください。

※⊕と⊖を逆に入れると電池フタは閉まりません。



- *1ヵ月以上使用しないときは、電池を取り出してください。
- *電池寿命は、連続使用で約100時間~200時間です。(電池寿命は使用条件等で変わります。)
- *空気電池は湿ると動作しません。湿らせたときは乾いた布でよく拭き取ってください。
- *空気電池は、冬場などの気温の低い環境では、本来の性能が発揮できないことがあります。新品の電池を使っても補聴器から音が出ない、などの症状が出るときは、電池を体温でしばらく温めてからご使用ください。また、ストーブを使う環境などでは、電池寿命が短くなることがあります。
- *空気電池312型(PR41)のお求めは、電器店又は補聴器サポートセンターまでお問い合わせください。

❗ 万一、電池が破損し、電解液が皮膚に触れた時は、すぐに水洗いしてください。

電源とボリューム(音量)調節

電源のON、OFFと音量調節が一つのつまみでできます。

音の大きさは時計回りで大きくなり、反時計回りで小さくなります。

時計方向にゆっくり回す

赤い点が時計の5時頃の位置で音量最大となります

*これ以上無理に回さないでください

赤い点が時計の7時頃の位置がOFFの位置です

●音量調節つまみは、人差し指または親指の腹でゆっくり回してください。

補聴器を装着した後で音量調節つまみの操作が上手くできないときは・・・

装着する前に音量調節つまみの赤い印を時計の1時頃の位置に合わせてから装着してご使用ください。

●電源を切るときは、ゆっくり反時計回りに回し、カチッと手ごたえを感じた位置がOFF(切)の状態です。

●使用しないときは、こまめに電源をOFF(切)の状態にしてください。

*音量調節つまみは必ず指の腹で回してください。つまんで回したり、爪で引っかけて回すと故障、破損の原因になります。

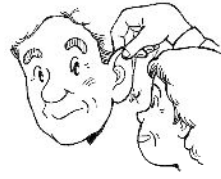
❗ 長時間連続してお使いになると耳の疲労の為に言葉が聞きにくくなる場合があります。その時はご使用を中止してください。



装着のしかた

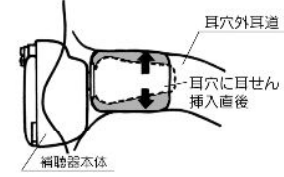
① 装着の前に

1. まずは耳穴を綿棒などできれいにしましょう。耳せんに耳垢が詰まると音の聞こえが悪くなります。
2. 耳穴の曲がり方は人によって違います。まわりの人に耳穴を見てもらい、耳穴を確かめてください。



② 耳せんのつぶし方・装着

1. 耳穴に挿入する前に補聴器に付いている耳せんに親指と人差し指の腹でつまみ、クルクルと回転させて押しつぶします。



●ハーモニー用の耳せんは低反発ウレタン素材で、耳穴に挿入すると約30秒で元の大きさに戻ります。

2. 親指と人差し指で音量調節つまみを上に向けた状態で持ち、補聴器の耳せん部分を耳穴へ入れます。



装着のポイント

- 図のように耳を引っ張りながら入れると耳穴が広がり耳せんが入れやすくなります。
- 人によっては音量調節つまみが下の状態が入れやすい場合もあります。



③ 耳せんの大きさ

- 耳せんは、写真のように3種類の大きさが入っています。
- 出荷時は補聴器本体にショートが付いています。



④ 耳せんの交換

耳せんの大きさが合わなかったり、耳せんが劣化するとハウリングが止まらなくなります。そのようなときは、耳せんを交換してください。

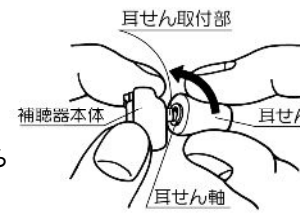
- 耳せんの取りはずし

補聴器本体と耳せん取り付部の間に爪先をかけて、耳せんを軸ごと取りはずしてください。



- 耳せんの取り付け

補聴器本体の取付部を耳せん軸の穴に斜めから押し込むように耳せんを取りつけてください。



取出しかた

1. 耳たぶの裏側の付け根のあたりを、指先で軽く2、3度押し上げて、補聴器を外に押し出してください。
2. 押し出されてきた補聴器の側面、指ではさんで取り出してください。



- 音の通り道(イヤホン穴、マイク穴、耳せん軸)に耳垢が詰まると、音が出ない原因となります。使用後は付属の掃除用ブラシで掃除してください。

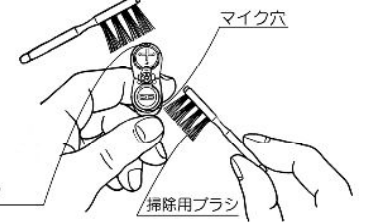
- 耳せんが汚れたときは補聴器本体から耳せんを取り外し、ぬるま湯の石鹸水で軽く揉むように洗い、良く水切りした後、完全に乾燥させてからご使用ください。

毎日お手入れをして、いつも清潔にお使いください。



- 電池フタのマイク穴に重なる部分も掃除用ブラシで掃除してください。

*粘着性の耳垢がブラシで取れない場合は新しい耳せんに交換してください。



❗ 補聴器本体は絶対に水等に浸さないでください。

補聴器の上手な使いかた

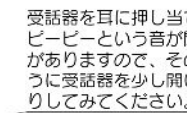
- 初めて補聴器を使うときには、テレビやラジオのニュース番組を普通の音量にし、アナウンサーの声がちょうど良く聞こえるよう補聴器のボリュームを調整し、言葉を聞く練習をしてください。

- 人と話すときは、向かい合って普通の声の大きさでゆっくりと話してもらってください。

- 補聴器を装着して、すぐにボリュームを上げるとハウリングが起きることがありますので、耳せんが膨らんでからボリュームを上げるようにしてください。



- 電話の声を聞くときには、装着した補聴器に受話器を近づけるとよく聞こえます。ハウリングが起きるときは、補聴器に受話器をあてる角度を変えて、ハウリングが起きないでよく聞こえるあて方を探してください。



受話器を耳に押し当てすぎると、ピーピーという音が聞こえる場合がありますので、その時は図のように受話器を少し開いたり傾けたりしてみてください。

- 両耳に補聴器を使用すると騒音下でも明瞭度は上がります。
- 補聴器の故障を防ぐために、こまめにお手入れをしてください。

各部の名称

